

(資料3) 平成元年度における腸内病原微生物検出状況

微生物課 臨床検査係

平成元年度に実施した一般依頼、勸奨検便および行政依頼による防疫検便からの腸内病原微生物検出状況を表1に示した。

本年度は赤痢の集団発生が認められ、患者数は25名にのぼった(事例報告に記載)。また、流行性脳脊髄膜炎の届出があり、保菌者検索を実施した。

1) サルモネラの検出状況

一般依頼および勸奨検便38,312件より5株、防疫検便1,941件より4株(うちパラチフスA1株)の計9株のサルモネラが検出された。また、病院および検査センター等の施設より4株の同定依頼があった。

サルモネラ13株の血清型別を表2に示した。

2) 海外旅行者の腸内病原微生物検出状況

平成元年度に実施した件数は52件で、この内15名より病原菌が検出された。内訳はサルモネラが2名、ETECが5名、EPECが3名、赤痢が3名、腸炎ピリオおよびカンピロバクターが各1名であった。

表2 サルモネラの血清型別

血清型	勸奨	一般	依頼	伝予
O2 a : -				1
O4 i : 1, 2 fgs : -	1		1	
O7 d : 1, 5 r : 1, 5 gms : - z <sub>29</sub> :	1	1	1	1
O8 z <sub>10</sub> : enx z <sub>6</sub> : enx lv : 1, 2	1 1		1	
O1, 3, 19 gst : -				1
O3, 10 eh : 1, 6				1
合計	4	1	4	4

表1 平成元年度の腸内病原微生物検査成績

区分	検査件数	サルモネラ						ETEC	EPEC	赤痢	カンピロバクター	腸炎ピリオ	陽性件数	
		02	04	07	08	01, 3, 19,	03, 10							
統計	40,354	1	2	3	2	1	1	5	3	28	1	1	47	
依頼検査	小計	38,312		1	2	2							5	
	一般検便	3,140			1								1	
	勸奨検便	35,172		1	1	2							4	
行政検査	小計	2,042	1		1		1	1	5	3	28	1	1	42
	コレラ	6												
	チフス	95												
	赤痢	1,735									25			26
	海外旅行者	52			1			1	5	3	3	1	1	15
	経過者	53	1											1
	赤痢アメーバ	31												
	流行性脳脊髄膜炎	70												